

# 事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

714

がん対策事業（肺がん）

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	7	健康で元気に暮らせる環境づくり
施策	1	健康づくりの推進
取組方針	2	成人保健対策の推進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		成人保健対策費	
	大事業		成人保健対策事業	
	中事業		がん対策事業（肺がん）	

事業種別	継続		関連個別計画	健康わかやま 2.1 推進計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	地域保健課	上中 英人 488-5121
事業実施の根拠法令	健康増進法		関連課			

## 1 事業内容

事業目的	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		全体事業概要			
	日本人の死亡原因第一位である「がん」を早期発見することで、早期治療に結びつけ、市民の健康保持を図り、自身の健康管理についての意識の向上も図る		肺がんは日本人のがんによる死亡数の男性1位、女性2位であり、これを早期に発見し、治療に結びつけることは、がん予防対策上重要な課題であり、市医師会に委託し、医療機関等による個別検診及び集団検診を実施する。			
事業内容	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	
	対象者：40歳以上の市民 検診内容：問診、胸部エックス線直接撮影	対象者：40歳以上の市民 検診内容：問診、胸部エックス線直接撮影	対象者：40歳以上の市民 検診内容：問診、胸部エックス線直接撮影	対象者：40歳以上の市民 検診内容：問診、胸部エックス線直接撮影	対象者：40歳以上の市民 検診内容：問診、胸部エックス線直接撮影	対象者：40歳以上の市民 検診内容：問診、胸部エックス線直接撮影

## 2 事業コスト

事業費等（千円）	令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	22,991	23,073	23,374	25,096	23,516	25,554	25,703	0	0	0
伸び率（%）	△6.7%	8.1%	1.7%	8.8%	0.6%	1.8%	9.3%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	6,827	6,982	6,462	7,163	6,522	7,308	7,308	0	0
	正規職員以外	3,283	3,302	3,229	656	831	831	831	0	0
	小計	10,110	10,284	9,691	7,819	7,353	8,139	8,139	0	0
国庫支出金	255	255	256	256	290	290	313	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）	22,736	22,818	23,118	24,840	23,226	25,264	25,390	0	0	0
所要人数 （人）	正規職員	0.88	0.90	0.83	0.92	0.83	0.93	0.93	0.00	0.00
	正規職員以外	0.91	0.92	0.91	0.34	0.43	0.43	0.43	0.00	0.00
主な予算内訳	がん検診委託料22,177千円等									

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
肺がん検診の受診者数	人	目標値					
		実績値	9239	10170	10264		
		達成度(%)	%	%	%	%	%
肺がん検診の受診率	%	目標値	10	10	10		
		実績値	4	4.4	4.5		
		達成度(%)	40.0%	44.0%	45.0%	%	%
		目標値					
		実績値					
		達成度(%)					

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	健康増進を行うために二次予防は大きな役割を担っている。 市民の方々に「自分の健康は自分で守る」との意識の向上を積極的に推進していきたい。
見直し・改善内容	啓発方法を工夫し、周知していくとともに、健康に対する意識向上に努めたい。